

五

立案 昭和 年 月 日
決裁 昭和 年 月 日

新任命



宗秩賢總裁

海軍少尉卯野忠作外一名叙位取消、件

昭和三十四年四月十二日

臺帳記

官 内 省

海軍少尉卯野忠作外一名叙位取消ノ件

昭和二十一年四月十二日

海軍少尉卯野忠作外一名叙位取消ノ件



海軍少尉卯野忠作外一名叙位取消ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和二十一年四月十二日

内閣總理大臣男爵幣原喜重郎



日

月

二復位第 四七 號

起 昭和三十二年四月 日
裁可 昭和三十二年四月十二日 施
決定 昭和 年 月 日 行 昭和 年 月 日

内閣總理大臣

内閣書記官兼在

内閣事務官



海軍少尉卯野忠作外一名敘位取消件今般第ニ復負大臣ヨリ別紙
通奏請之有今更不都合ニ候得共事實已ニ得テト認メラルルニ付敘
位取消上奏相成然ルヘシ

内閣

内閣

内閣

白紙前上奏時如然

海軍少尉 卯野忠作
海軍少尉 卯野忠作
海軍少尉 卯野忠作

内閣書記官 卯野忠作

内閣書記官

内閣書記官 卯野忠作

昭和二十年三月十五日

海軍少尉

卯野忠作

右者頭書、通叙位發令相成候處昭和二十年二月八日戰死致候ニ付本叙位取消相成度恐懼

謹テ奏ス

昭和二十一年三月二十五日

第二復員大臣 野原喜重郎



卯野忠作

内閣人復位第 四六三 號

昭和二十年三月十五日
正 八 位

海軍少尉

伊 奈 忠 一

右者頭書ノ通敍位發令相成候處昭和十九年九月十二日戰
死致候ニ付本敍位取消相成度恐懼

謹テ 奏ス

昭和二十一年三月二十五日

第二復員大臣 男爵 幣 原 喜重郎



海 軍

昭和二十一年三月二十五日	海軍大臣	海軍少尉	野忠作
昭和二十一年三月二十五日	海軍大臣	海軍少尉	野忠作
昭和二十一年三月二十五日	海軍大臣	海軍少尉	野忠作
昭和二十一年三月二十五日	海軍大臣	海軍少尉	野忠作
昭和二十一年三月二十五日	海軍大臣	海軍少尉	野忠作
昭和二十一年三月二十五日	海軍大臣	海軍少尉	野忠作
昭和二十一年三月二十五日	海軍大臣	海軍少尉	野忠作
昭和二十一年三月二十五日	海軍大臣	海軍少尉	野忠作
昭和二十一年三月二十五日	海軍大臣	海軍少尉	野忠作
昭和二十一年三月二十五日	海軍大臣	海軍少尉	野忠作

昭和二十一年三月二十五日

内閣官房人事課長 殿
第二復員省人專局

叙位取消ニ關スル件照會

三月二十五日二復秘人第九四

亞戰爭作戦從事中戦死致候處通信連絡遅延ノ爲戦死報告叙位發令後トナリタルモノ
ニ有之候條取消方可然取計相成度

記

昭和二十年二月八日 南支那海戦死 海軍少尉 野忠作
(昭和二十年三月八日 淮達海秘人第五七一號海軍大尉菊池武治以下千六百四十四名中七十三枚目裏)

(終)

二復人事局扶秘第一六號ノ一五九

昭和二十一年三月二十五日

第一一復員省人事局長

内閣官房人事課長 殿

叙位取消ニ關スル件照會

三月二十五日二復秘人第九四八號叙位取消ノ件上奏相成候左記ノ者ハ頭書ノ通
大東亞戰爭作戰從事中戦死致候處通信連絡遅延ノ爲戦死報告叙位發令後トナ
リタルモノニ有之候條取消方可然取計相成度

記

昭和十九年九月十一日 比島方面戦死 海軍少尉 伊奈忠一
(昭和二十年三月八日進達海秘人第五七二號海軍大尉中村林雄以下一千三百九十名中二十三枚目裏)

(終)

官報
不登載

二復秘人第九四號

昭和二十一年三月二十五日

第一復員大臣男爵幣原喜重郎



內閣總理大臣男爵幣原喜重郎殿

海軍少尉卯野忠作敍位取消ノ件別紙上奏書進達ス

(終)

海

軍



不
登
載

二復秘人第 九四八號

昭和二十一年三月二十五日

第二復員大臣 男爵 幣 原 喜重郎



内閣總理大臣 男爵 幣 原 喜重郎 殿

海軍少尉伊余忠一敘位取消ノ件別紙上奏書進達ス

(終)



立案 昭和 年月 日
決裁 昭和 年月 日

宗秩家總裁



宗秩家



海軍少佐山下茂雄外八名叙位取消の件

昭和三年四月十九日
官報
官報

官 内 省

海

軍